



**葉色が淡い場合は、中干しをせずに間断かん水を継続しましょう！**



**いもち病の防除対策を徹底しましょう！**

## 1 生育概況（5月上旬移植・コシヒカリ）

- ◇ 生育診断ほの調査結果（塩谷町、那須烏山市）では、草丈はやや短く、茎数は少なく、葉色は淡い状態でした（平年比）。
- ◇ 生育診断値（茎数×葉色値）は、塩谷町および那須烏山市では指標値を下回り、宇都宮市（試験場）では指標値より大きくなりました（表1）。
- ◇ 幼穂分化の程度等から、今後気温が平年並に推移した場合、5月第1半旬に移植したコシヒカリの出穂期は8月初旬頃になると予想されます。  
（平年出穂期：塩谷町、那須烏山市8/4）

表1 生育診断ほ調査結果（令和3年7月6日）

調査項目	塩谷町	那須烏山市	宇都宮市 （農業試験場）	生育診断指標値※ （出穂前30日）
① 草丈	58.6	67.0	70.2	-
② 茎数（本/坪）	372.2	467.9	573.9	450～470
③ 葉齢	10.8	11.2	10.8	-
④ 葉色	3.8	2.9	3.7	3.9～4.2
⑤ 茎数×葉色値	1,415	1,357	2,135	1,800～2,050

※ 県北部、早植栽培、22株/m<sup>2</sup>植えの場合

## 2 技術対策

### （1）水管理

- ◇ 葉色が淡い場合は出穂まで間断かん水を継続し、根の活力を向上させましょう。
- ◇ 気象庁の1ヶ月予報（7月8日公表）によると、気温が平年並・高い確率はそれぞれ30%、40%で、高温に推移すると考えられます。出穂期以降、異常高温になりそうな際は、夕方～夜間のかん水により地温を低下させ、根の活力維持に努めましょう。
- ◇ 落水時期は出穂後30日以降とし、その後も高温・多照が続く場合はほ場条件を考慮して収穫7～10日前まで走水を実施しましょう。

## (2) 追肥

- ◇ 生育進捗と生育診断値より、現時点での分施（基肥＋追肥体系）の追肥時期は、7月19日頃と予想されます。
- ◇ 間断かん水を続けて葉色の極端な色落ちを防ぎ、時期になったら窒素成分 3 kg/10 a（NK-202号など）を追肥しましょう。

## (3) いもち病対策

水稻の生育期間のほぼ全期間において発生し、イネいもち病菌が寄生すると発症します。葉、節、穂首の各部に寄生し、穂に感染した場合不稔になりやすいため、適宜防除しましょう。

湿度が高く、気温が低いと発生しやすいため、天気予報や下記の **BLASTAM** を活用して適期防除に努めましょう！（下記参照）

### ア 葉いもち（写真1、2）

- ◇ 箱施用剤を施用しなかったほ場では、水面施用剤で発病前に予防散布をするか、発生予察情報（感染好適日判定結果等）に注意し、水和剤・粉剤等で早めに防除を行いましょ。

※ 耐性菌の出現・拡大を防止するため、箱施用剤は異なる系統の薬剤を年次ごとにローテーションで散布しましょう。



葉いもち進展型



葉いもちずりこみ症状

### イ 穂いもち（写真3）

- ◇ 粒剤による防除は出穂前に行いましょう。
- ◇ 水和剤・粉剤等による防除は、出穂始めから穂揃い期に行いましょう。
- ◇ 穂揃い期後に多湿条件が続き、多発するおそれがある場合は、追加防除を行いましょ（本田防除剤は箱施用剤と異なる系統の薬剤を使用する）。



穂いもち（枝梗）

## BLASTAM を活用しよう！

栃木県農業環境指導センターでは、様々な病虫害の予察・発生状況の調査等を行っています。HPにてBLASTAM（いもち病発生時期予測システム）を公開していますので、右のQRコードからBLASTAMページを開き、感染好適条件になっているかチェックしましょう！

